

# 協働の事例集

2019.3 鈴鹿市

## 事例一覧

- 地域防災活動
- 災害時の協定ネットワーク
- 地区防災計画・避難所運営マニュアルの策定
- 安全・安心フェスタすずか
- 鈴鹿市総合計画策定のための市民委員会
- 清掃ボランティア活動
- ジェフリーふえすた
- わいわい春まつり
- 成人式実行委員会
- お月見ミュージアムコンサート
- 鈴鹿シティマラソン
- 図書館ボランティア活動
- 鈴鹿の生き物観察会
- おもちゃ病院
- 鈴鹿子ども支援ネットワーク
- ふれあい広場鈴鹿
- 障がい者の就労マルシェ
- 鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会によるおもてなし
- すずかフェスティバル
- 鈴鹿バルーンフェスティバル
- 鈴鹿さくら祭り
- 鈴鹿元気花火大会
- 鈴鹿植木まつり
- 草刈りサポート制度
- 都市マスタープラン
- 「すずか夢工房」事業による出前講座
- 「チャレンジ 14」事業による職場体験活動
- 学校支援ボランティア活動
- コミュニティスクールによる開かれた特色ある学校づくり
- ぬくたいフェスタ
- 出初式
- 火の夢フェスタ
- 救急・健康フェア

## ○地域防災活動

主体：地域住民・団体・行政

大規模地震を教訓として、各地域で防災に関する活動が盛んに行われています。自助・共助・公助の考え方のもと、自らが備えるための啓発や地域で備えるための自主防災隊の活動や防災訓練、また市や県も巻き込んだ大規模な訓練や講演会などが行われています。

有事の際の連携につなげるために様々な協働の取組みが実践されており、最近では、地域・事業者・行政との間で避難ビルや物資援助などの様々な協定が結ばれています。



## ○災害時の協定ネットワーク

主体：地域住民・団体・行政

有事の際は、住宅の被災や流通機能の一時停止に伴い、食料や日常生活用物資の喪失が考えられるため、被災者への生活救援物資等の迅速な供給に向けた常備備蓄を行うほか、地域居住者（企業）と災害協定を進めています。生活救援物資の供給、飲料水の提供、応急工事、施設の一時使用などの様々な協定が結ばれています。

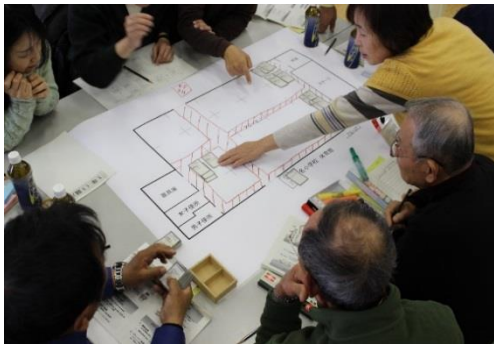


## ○地区防災計画・避難所運営マニュアル

主体：地域住民・団体

平常時から、共助の考え方のもと、避難者や地域住民が助け合って避難所生活ができるよう、避難所運営を話し合わなければなりません。各地域の特性（地理的条件、高齢者・障がい者・女性・外国人等の割合）に応じた、地区防災計画を策定することや避難所運営方法を記載した避難所運営マニュアルの策定が、災害時に向けた課題とされています。

これらの取組みが促進されるよう、行政による助言等の支援を行います。



## ○安全・安心フェスタすずか

主体：市民・団体・事業者・行政

安全安心で交通事故や犯罪のない住みよい地域社会づくりを目的として、開催されています。

多くのボランティア、企業、警察、消防、行政が連携して、子どもからお年寄りの方まで、楽しみながら安全安心なまちづくりの必要性を感じていただけるイベントです。



## ○鈴鹿市総合計画策定のための市民委員会

主体：市民・行政

平成 28 年度から始まった「鈴鹿市総合計画 2023」の策定にあたり、計画策定段階において市民の声を反映させるために、市民委員会が設置されました。この市民委員会は、無作為に抽出された市民に参加依頼を行った中から参加承諾をいただいた方々で構成されました。

従来の少数公募型ではなく、様々な年齢や階層の市民に多数参加いただく新しい取組みとなっています。



## ○清掃ボランティア活動

主体：地域住民・団体・学校・行政

環境を守ろうという思いから、地域では様々な清掃活動が行われています。

若松地区では「若松海岸美化ボランティア推進委員会」を組織して、地域住民、団体、学校、行政が連携して平成 11 年度から年 2 回大規模な清掃を行っています。

年々参加者が増え、自然の大切さとみんなで取り組むことの重要性の理解が広がっています。



## ○ジェフリーふえすた

主体：市民・団体・行政

鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」で平成 15 年度から毎年開催されているイベントです。男女共同参画への関心や理解を深めていただくことを目的に開催されており，ジェフリーふえすた実行委員会で企画された様々な楽しいイベントを目当てに多くの方が来場されます。



## ○わいわい春まつり

主体：実行委員会・行政

鈴鹿国際交流協会が事務局となり，日本人や外国人のボランティアで実行委員会を組織しています。多くのボランティアや団体・協賛企業の協力を得ながら，各国の音楽やダンスパフォーマンス，国際屋台村，民族衣装体験や子どもの遊び体験コーナーなど五感をフルに使って異文化にまる一日どっぷり浸かれる国際交流フェスタを毎年 4 月に開催し，国際交流や多文化共生の啓発を行っています。



## ○成人式実行委員会

主体：新成人・団体・学校・行政

鈴鹿市では平成14年度から、新成人となる方で実行委員会を組織し、成人式の企画立案から運営までを行っています。

みんなの良い思い出となり、門出を祝福できるよう、恩師の方々や各種団体の協力を得て、すばらしい成人式を作り上げています。



## ○お月見ミュージアムコンサート

主体：地域住民・団体・行政

考古博物館が主催し、考古博物館サポート会と国分町ボランティア隊が共催、これに国分町自治会が協力し地元企業の協賛も得ながらお月見ミュージアムコンサートを実施しています。地域住民、関連団体とイベントを作り上げることを通して地域住民と職員のコミュニケーションも増え、考古博物館に愛着を持ってもらうことにも繋がっています。お月見ミュージアムコンサートではコンサートの他にも万灯会、天体観望会等も同時に催し、毎年大勢の来場者で賑わっています。



## ○鈴鹿シティマラソン

主体：市民・団体・事業者・行政

モータースポーツの聖地として知られる鈴鹿サーキットの国際レーシングコースを直接走ることができる全国的にもあまり例のない特徴的なマラソン大会として毎年開催し、鈴鹿市のシティセールスの場にもなっています。

企画、運営には特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会、鈴鹿市陸上競技協会、鈴鹿市スポーツ推進委員協議会をはじめとした各種団体、事業者が参画し、大会当日は500名を超えるボランティアに支えられています。



## ○図書館ボランティア活動

主体：市民・行政

図書館では常時ボランティアを募集し、個々の希望及び能力に応じて、絵本の読み聞かせ、図書の修理や整理、録音図書の作成及び図書館の環境美化に取り組んでいただいています。絵本の読み聞かせグループは、月7回のおはなし会や乳児1歳6ヶ月健診の時ににおいておすすめ絵本を読むなどを実施しており、おはなし会の参加者や保護者に大変喜ばれている活動です。録音図書の作成は、視覚障がいの方などが本を楽しむ手段として、活字を音声データに変換しています。

図書の修理、図書の整理及び図書館の環境美化については、個々の活動できる時間に来館して実施しています。





## ○鈴鹿の生き物観察会

主体：市民・行政

毎年8回程度、それぞれの分野の専門的な知識を持つ方を講師としてお招きし、市民の方々を対象に実施しています。

子どもの自然離れが問題になっていることもあり、この観察会を通じて、幅広い年齢の方に、市内の自然に親しみ、その保全への関心を高めていただくことを目的としています。



## ○おもちゃ病院

主体：団体・行政

ごみの減量化・リユース・リサイクルの推進に関わりながら、物を大切にする心を「問い直す」という思いも込め、ボランティア団体「トイなおす」のおもちゃドクターがおもちゃを原則無料で修理しています。

年4回（2月、5月、8月、11月）開催しており、毎回多くの市民の方が訪れます。



## ○鈴鹿子ども支援ネットワーク

主体：NPO・行政

子ども一人ひとりが自立し、自分らしく生きることができるように、民間と行政が連携し、月に一度の定例会やイベント、研修会などを行い、子どもが安心・安全に育つ社会づくりを目指しています。



## ○ふれあい広場鈴鹿

主体：市民・団体・学校・事業者・行政

社会福祉協議会を中心に、福祉をキーワードとして集まった団体等により実行委員会を組織して、昭和62年から毎年行われているイベントです。

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が参加して、楽しみながら福祉やきずなの大切さを感じるイベントとして市民に定着しています。



## ○障がい者の就労マルシェ

主体：市民・団体・事業者・行政

障がい者の就労を支援するため、ハローワーク鈴鹿、障がい者関係機関、行政による実行委員会を組織して、平成 25 年度から「障がい者の就労マルシェ」を開催しています。

障がい者は企業のイメージをつかみ、企業や市民は障がい者の思いを感じるイベントとして、注目されています。



## ○鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会によるおもてなし

主体：市民・市議会・事業者・団体・行政

日本で唯一開催される F 1 を盛り上げ、世界中の方に最高のおもてなしをという発想から、平成 20 年に生まれた非常にスケールの大きい事例です。

みんなで盛り上げようという趣旨から、いつでも誰でも参加できるごみ拾いやツイートなどにも積極的に取り組んでいて、協働を実感しやすい貴重な事例です。

この事例は、国や県をも巻き込んだ「環境整備部会」から、地域住民、ボランティアが多数活躍する「おもてなし部会」まで、一つの目的に向かって協働することで、とても大きな力を発揮するという、本市ならではの協働の力を示す事例といえます。



## ○すずかフェスティバル

主体：地域住民・団体・事業者・行政

「市民が創り誰もが参加でき主役になれる祭り」を開催趣旨として、平成9年に第1回を開催しました。その後、回を重ねるごとに参加者も増え、市外の人でも多数参加する鈴鹿の夏のイベントとして定着しています。開催にあたっては、運営を手伝うサポーターを多数募集し、市民の祭りとして成長を続けています。



## ○鈴鹿バルーンフェスティバル

主体：地域住民・団体・行政

「気球を通じて多くの人に感動を与えたい、子ども達に自然を感じるきっかけをつくりたい、三重県・鈴鹿市を代表するイベントに育てたい」を目的として、1992年（平成4年）10月、第1回鈴鹿バルーンフェスティバルを開催しました。その後、回を重ねるごとに参加者も増え、市外の人でも多数参加する鈴鹿の秋のイベントとして定着しています。実行委員会は市民・団体・行政で構成され、運営を手伝うボランティアを募集し、バルーンフェスティバルをみんなで支え楽しめるように協働しています。



## ○鈴鹿さくら祭り

主体：地域住民・団体・事業者・行政

「桜とともにグルメや縁日を楽しめる祭り」を開催趣旨として、平成 12 年に第 1 回目を開催しました。その後、回を重ねるたびに、鈴鹿の春のイベントとして定着しつつあります。鈴鹿の桜の名所である旭化成(株) 鈴鹿製造所の桜並木及び陸上グランド周辺にて、鈴鹿の露天の出店を行い、鈴鹿のグルメを認知してもらうなど、地域活性化に寄与しています。実行委員会は平田商店会と協力し、鈴鹿の企業と連携し、運営を手伝うボランティアを募集し、みんなで楽しめるように協働しています。



## ○鈴鹿げんき花火大会

主体：市民・団体・事業者・行政

「子どもに夢と希望を持ってもらうこと」、「鈴鹿に活力を生み出すこと」を目的に、平成 26 年度から開催しています。その後、回を重ねるごとに参加者が増え、市外の人でも多数参加する鈴鹿の花火大会として定着しています。開催にあたっては、運営を支えるボランティアを多数募集し、大会の成功にむけて協働しながら、市民の祭りとして成長を続けています。



## ○鈴鹿市植木まつり

主体：地域住民・団体・行政

鈴鹿市が全国有数の植木産地であることをPRし、植木生産者と消費者との交流を通して、人と緑のふれあいを高めることを目的として、昭和52年から開催されています。地域とのつながりを大切にするため、地元企業や各種団体と協働し、子どもからお年寄りの方まで楽しめる様々なイベントを用意して来場者を迎えます。



## ○草刈りサポート制度

主体：自治会・行政

地域のことは地域で良くしていくという考えから、道路・河川・水源地での草刈りや公園の除草を平成14年度から地元自治会等に委託しています。



## ○都市マスタープラン

主体：市民・行政

従前の都市マスタープランの改訂作業の一環として、平成 25 年度に、市内 23 行政区ごとに地区別会議を実施しました。地区市民センターを通じ地区ごとに選出された市民の皆様と、ワークショップ型式にて課題整理を行ったことで、新しい都市マスタープランでこれからの都市づくりの方向性を示す「5 つのテーマ」と「2 つの視点」を導くことにつながりました。



## ○「すずか夢工房」事業による出前講座

主体：地域住民・学校

学校・芸術・文化等の様々な分野で活躍する地域における人材等を生かし、学校での出前講座を実施し、学習指導要領で重視されている教育内容の充実・推進を図っています。

講師は、小児科や産婦人科等の医療関係者、着付け講師、福祉指導者、元アナウンサー、音楽療法士、保護司、レーシングドライバー、災害ボランティア、科学サークル、佐佐木信綱顕彰会といった方々で、平成 29 年 4 月現在で 30 名登録していただいています。



## ○「チャレンジ 14」事業による職場体験活動

主体：地域住民・学校

発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進の一つとして、中学生が働くことに対する具体的なイメージを持ち、望ましい勤労観や職業観を身に付け、主体的に進路を選択できるよう、市内10中学校にて、中学2年生または3年生が4日間の職場体験学習を実施しています。学校・家庭・地域社会が連携して、「地域の子どもは地域で育てる」という機運を高めるためにも、受入れ体験先を地元中心に展開し、地域の方々から社会人としての適応力を育てていただいています。

また、鈴鹿西ロータリークラブの青少年育成事業の一環として、講師（おじさん先生）を中学校に派遣していただき、職業生活を営む上でのマナーやルール、言葉使い等、職業の社会的意義について教えていただいています。



## ○学校支援ボランティア活動

主体：地域住民・保護者・学校

市内の全ての公立小中学校では、保護者や地域住民が、学習支援活動、登下校時の見守り活動、環境美化活動、図書の読み聞かせ活動など、様々な学校教育活動を支援するボランティア活動が、活発に行われています。また、児童の父親が中心となって組織している「おやじの会」等が、児童への体験的な活動を支援するなど特色ある教育支援活動も実施されています。

これからの子どもの教育は、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力によって取り組むことが求められており、今後もより多くの保護者や地域住民の活動への参加が期待されます。





## ○コミュニティスクールによる開かれた特色ある学校づくり

主体：地域住民・保護者・学校

市内の全ての公立小中学校は、保護者や地域住民等からなる学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールに指定されています。

各学校では学校運営協議会を中心に、学校、家庭、地域が一体となって「どんな子どもを育てていくのか」、「どんな学校、地域にしていくのか」を共に考え、目指す姿を共有するとともに、学校や地域の教育課題の改善について協議するなど、子どもの教育活動の充実や地域に開かれた特色ある学校づくりに取り組んでいます。



## ○ぬくたいフェスタ

主体：地域住民・学校・行政

障がい者差別を無くし、ともに生きる社会を実現するための啓発イベントとして、「ぬくたいフェスタ～ともに生きる～」を開催しています。地域、地域の保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、行政やNPOが協働し、障がい者差別をなくす強調週間実行委員会を立ち上げ、企画立案から運営まで行っています。毎年11月中旬に鈴鹿市人権教育センターと一ノ宮団地隣保館・児童センターを会場に開催しており、子どもから大人まで多くの人に参加をしていただく中で、ともに生きること、自分らしく生きられる社会について考える一日にしています。



## ○出初式

主体：地域住民・団体・学校・消防団・行政

鈴鹿市の新春を飾る年頭行事として、消防職員・消防団員の意気込みと消防車両や装備などの消防力を広く市民の皆さんに披露し、消防への理解と協力を目的として行われています。また、出初式を盛り上げていただくために、幼少年消防クラブ員や市民の皆様との「ふれあい行進」を企画するとともに、市内中学校等の吹奏楽部の皆様にも参加いただいています。



## ○火の夢フェスタ

主体：団体・消防団・行政

鈴鹿市消防本部の庁舎及び敷地を開放して、消防職員、消防団員、防火協会員などの消防関係機関が一丸となって、一般市民の皆様へ、それぞれ自身が行っている特技等を披露し、楽しみながら防火、防災について触れて、知って、学んでいただくイベントです。

大人から子供まで楽しめる内容となっていますので、多くの方が来場されます。

※「火の夢」は、昔から幸運を呼ぶとされています。



## ○救急・健康フェア

主体：地域住民・行政

市民の皆さんに救急と健康に関する理解と認識を深めていただくため、救急・健康フェアを開催しています。

女性消防団員による救急に関する人形劇，救急クイズ，救急救命士による救命処置実演，応急手当の実技指導，医師による健康相談無料血液検査，無料血圧測定，歯科相談・歯間ブラシ体験，お薬相談や健康茶試飲，育児相談，無料肺がん検診，塩分濃度測定（ご家庭の味噌汁を持参していただき測定します），認知症予防や介護相談，福祉用ロボットスーツの展示，食育・栄養相談，アルコールパッチ体験など，いろいろなイベントが催されます。



協働は決して難しいものではなく、まずは一緒に取り組むことから始まるものであり、取り組みの過程が大切であるといえます。

この事例集では、鈴鹿市内で行われている協働の事例のほんの一部を紹介しました。

これらの事業やイベントに興味を持って参加することも協働につながります。

住みよいまちづくりを目指して、ぜひ身近なところから参加してみましよう！

作成 鈴鹿市地域振興部地域協働課

電話 059-382-8695      ファクス 059-382-2214

メール [chiikikyodo@city.suzuka.lg.jp](mailto:chiikikyodo@city.suzuka.lg.jp)